

橋本俊詔『格差社会』

第2章「平等神話」崩壊の要因を探る

全体のまとめ

- 格差拡大の要因
 - － 長期不況と失業の増大
 - － 非正規労働者の増加＝雇用の格差拡大
- 所得分配システムの変容
 - － 賃金決定方式：中央集権主義から分権化方式へ → 企業間格差、個人間格差、中央と地方の所得格差拡大
 - － 年功序列賃金から成果主義賃金へ
 - 労働者間の賃金格差拡大
 - － 所得税、相続税の累進度が低下
 - 再分配後所得の格差拡大
 - － 社会保険の保険料アップと給付の削減が続いている

- 構造改革：市場原理主義・新自由主義
 - － 経済効率を高める → パイが増え社会全体が豊かになる → ベネフィットが波及する
 - － だが増えたパイは勝者が持って行ってしまおう
- 現在の日本は？
 - － 税の累進度は低下し続け、社会保障は負担のアップと給付の削減策の連続
 - － 経済効率を上げることによって社会全体が豊かになるというのは幻想に近い
 - － 日本のセーフティーネット：世界的にも最低の水準それをさらに削減しようとするのが現在の構造改革